

経営健全化方針に基づく取組状況（令和元年度）

○法人名：

嬉野市土地開発公社

○経営健全化方針を策定した理由：

嬉野市が債務保証している嬉野市土地開発公社事業に係る債務残高の標準財政規模に対する比率が23.28%（平成29年度決算）に達しており、本市における実質赤字比率の早期健全化基準である13.80%を上回っているため策定したものの。

○財政的リスクの状況

項 目	平成 29 年度 決 算	平成 30 年度 決 算	令和元年度 決 算	目標達成年度 (令和 4 年度)
債務超過額(千円)	債務超過なし	債務超過なし	債務超過なし	—
事業内容に応じて時価 で評価した場合の債務 超過額 (千円)	0 千円	0 千円	0 千円	—
債務保証・損失補償の 対象となっている保有 期間5年以上の土地の 簿価総額(A)(千円)	0 千円	630,546 千円	1,417,031 千円	152,000 千円 未満
債務保証・損失補償の 対象となっている債務 残高(B)(千円)	1,816,336 千円	1,765,963 千円	1,767,926 千円	152,000 千円 未満
標準財政規模(千円) (C)	7,803,306 千円	7,775,512 千円	7,710,545 千円	—
実質赤字比率(%)	13.80%	13.81%	13.83%	—
(A)／(C) (%)	0%	8.11%	18.38%	3.0% 未満
(B)／(C) (%)	23.28%	22.71%	22.93%	3.0% 未満

○主な取組状況（令和2年3月現在）:

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・債務額を抑制するため、新幹線嬉野温泉駅周辺整備事業における先行取得の計画変更を行った。
- ・各事業の残存保有用地の計画的かつ適切な売却・処分(市による買戻し)実行ため、市との協議検討を行った。
- ・市と連携し、大野原地区事業用地の土地利用に関する計画検討を行った。

【本市による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・令和2年度予算において、新幹線嬉野温泉駅周辺整備事業用地(15,852.37 m²:399,311 千円)の市による買戻しに要する費用を予算措置した。
- ・新幹線嬉野温泉駅周辺整備事業での適切な事業進捗を図るため、関係機関との協議調整を行った。
- ・公社と連携し大野原地区事業用地の土地利用に関する計画検討を行った。

○法人の財務状況:

(貸借対照表から)

項 目	平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	令和元年度決算
資産総額	1,816,754 千円	1,766,217 千円	1,768,031 千円
(うち現預金)	(14,129 千円)	(1,497 千円)	(1,345 千円)
(うち棚卸資産)	(1,802,625 千円)	(1,764,720 千円)	(1,766,686 千円)
(うち固定資産)	(2,000 千円)	(2,000 千円)	(2,000 千円)
負債総額	1,816,336 千円	1,765,963 千円	1,767,926 千円
(うち地方公共団体からの借入金)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)
純資産額	2,418 千円	2,254 千円	2,105 千円

(損益計算書から)

項 目	平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	令和元年度決算
事業総損益	0 千円	0 千円	0 千円
事業損益	▲111 千円	▲168 千円	▲153 千円
経常損益	▲107 千円	▲164 千円	▲149 千円
当期純損益	▲107 千円	▲164 千円	▲149 千円